

## 大阪都市計画局・令和4年度部局運営方針

大阪都市計画局では、府市それぞれのノウハウ等を最大限発揮し、大阪の成長や発展を支える大都市のまちづくりを広域的な視点から府市一体で推進しています。令和4年度は次のテーマについて重点的に取り組みます。

### 重点テーマ：新しいグランドデザインを策定し、大阪全体のまちづくりを推進

〔主な取組み〕

#### ■新しいまちづくりのグランドデザインの策定・推進

○2050年に向けた大阪全体のまちづくりの方向性を示す新しいまちづくりのグランドデザインを策定し、民間活力を最大限引き出しながら、官民にわたる多様な主体が一体となって各種取組を推進します。

#### ■ストック・ポテンシャルを活かした魅力あるまちづくりの推進

##### ➢国際競争力を持った都心部の拠点形成

- うめきた2期地区において、「みどりとイノベーションの融合拠点」の実現をめざし、2024年一部先行まちびらきに向け、着実に基盤整備事業等を推進します。
- 新大阪駅周辺地域において、世界有数の広域交通ターミナルのまちづくりの実現をめざす「まちづくり方針2022」を策定し、都市再生緊急整備地域の指定に向けた取組を進めます。
- 大阪城東部地区において、「大阪城東部地区のまちづくりの方向性」を踏まえ、大阪公立大学森之宮キャンパスを先導役としたまちづくりの実現に向けた方策を検討します。
- 夢洲地区において、国際観光拠点の形成を推進するとともに、万博開催後の速やかな跡地活用を見据えた夢洲第2期のまちづくりを検討します。

##### ➢府内各地域における拠点形成と広域連携によるまちづくり

- 千里・泉北ニュータウンなどにおいて、高齢化や都市施設の老朽化等の課題に対し、再生に向けた取組を進め、環境配慮やICTの活用などによる先導的なまちづくりを推進します。
- りんくうタウンにおいて、企業誘致とともに、公民連携によるまちのにぎわいづくりを進めます。また、彩都において、産業集積などの機能を組み込んだ時代を先導する都市形成をめざします。
- 鉄道駅周辺のまちづくりや、幹線道路沿道における産業立地の誘導など計画的なまちづくりを進めます。
- 大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン（案）を踏まえ、沿岸市町や近隣府県等との連携のもと、ベイエリアの活性化に取り組みます。また、淀川舟運やサイクルルート、周辺山系等を活かした広域連携によるまちづくりを推進します。

#### ■都市計画制度等を活用したまちづくりの推進

- 都市計画制度等の的確な運用により、大阪の成長・発展を支えるまちづくりを推進します。
- 府市のノウハウを活用するなど、市町村を広域的な観点から支援するとともに、大阪市内については「ワンストップ窓口」を活用し、民間事業者の負担軽減や利便性向上を図ります。